

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 もこもこ		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 9日		2026年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数のため、マンツーマンで丁寧に関わることができている。	環境に適応することが難しい子どもに寄り添って支援している。 毎回散歩にでかけることで、しっかり身体を動かせるようにしている。	子どもをしっかり観察し、発達段階をしっかりと把握して個別に丁寧な対応をする。 保護者、こども園との連携を密にして支援する。
2	少人数の安心できる環境で支援をすることができている。	成長発達とともに変わっていく子どもたちの興味関心に合わせた環境設定を行う。 集中して活動できるシンプルな環境を作るようにしている。	成長の合わせた関りをする中で、コミュニケーションの意欲を促し、言葉の発達につながるようにする。
3	チームワークよく、よりよい支援に向けて取り組んでいる。	日々の振り返りで、改善すべき点を検討し、次回の支援に生かせるようにしている。 定期的なミーティングや日々の打ち合わせだけでなく、気づいたことをすぐに話し合える環境づくりに心掛けている。	共通理解を深め支援にあたり、個人の支援のスキルを高められるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数が少ないため、小集団を作ることができず、子どもの遊びが固定しがちになる。	療法士等を常駐していないためか、利用者が集まらない。	連携している相談支援事業所等に募集の広報活動をする。
2	保護者会や保護者同士の交流の機会ができていない。	家族参加のイベントを開催しているが、参加が限られている。保護者会の必要性についても今後検討していきたい。	普段から保護者のニーズをくみ取る意識を持って支援する。 個別面談の際に子育ての悩みを聞き取り、話し合う機会となるようにする。
3			